ひとりひとりにやさしさ実館 ❤ ハートフルおりづる

おりづる



利重真枝先生作（関連記事４ページ）

理念及び基本方針

【理念】 スポーツ、レクリエーション、文化活動を通じて、障がいのある人の生きがいづくりを応援します。

【基本方針】

○スポーツ、レクリエーション、文化活動を通じて、障がいのある人の社会参加の促進に努めます。
○利用者の人格・人権を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
○設備の安全点検とていねいな利用説明を行い、利用者の「安心・満足」に努めます。
○知識と技術の向上を常に心がけ、サービスの質の向上に努めます。
○利用促進と業務の効率化に努め、健全な施設運営を目指します。

スポーツ交流センター・おりづる

トピックス

○今年の NEW FACE を紹介します
○「あつパラ！」シーズン2 スタート！
○「おりづる」30周年記念イベント
○私とおりづるの30年（利用者インタビュー）
○話題の教室を紹介「水中健康運動教室」



館長あいさつ

館長　濵西　賢至

平素よりスポーツ交流センターをご利用いただき誠にありがとうございます。

機関誌『おりづる』は、平成８年８月に当センターが開館し、同年10月に創刊号が発行されてから29年間発行を続けてきました。令和７年度からは、機関誌の年２回の発行とあわせ、地域のコミュニティ放送局であるFM東広島で週１回15分の番組を放送しています。開館から30年が経過し地域に受け入れられたと実感しますが、同時に成長する圏域に新たに居住し始めた方にも、当センターをより広く知っていただくため試みているものです。

さて、令和７年度は、近隣の体育施設である東広島運動公園の体育館の改修工事があり、当センターの利用が１日平均33人程増加しました。令和８年度も引き続きサービス向上に努めてまいりたいと思います。

また、スポーツ交流センターに来館が困難な地域の障がい者を対象に、県内自治体や社会福祉協議会等と連携して、各地域のニーズに応じたスポーツ・レクリエーション活動を提供していく拠点地域派遣事業については、コロナ期間を経て、通常の地域派遣事業との差異がない状況となっていたので見直しを行いました。拠点地域派遣事業に替わる事業として、地域におけるパラスポーツ実施拠点となる可能性のあるスポーツ施設と連携してパラスポーツ教室等を実施する「地域連携事業」を企画し、福山市（県東部）と廿日市市（県西部）のスポーツ施設と協議を行い、令和８年度から実施の予定です。

「スポーツ交流センター　おりづる」は平成８年８月に開館し、開館以来一貫して、「スポーツ、レクリエーション、文化活動を通じて、障がいのある人の生きがいづくりを応援」してきました。スポーツ交流センターの各種事業も、利用される方々のニーズに沿ってリニューアルしつつ展開していけたらと考えております。

総合リハビリテーションセンターを構成する施設として、医療・福祉と連携し安心して楽しく利用でき、生きがいと活力の場となれるよう、これからも職員一同努力して参りますので、引続き皆様方のご指導・ご協力をお願いします。

今年のNEW FACEを紹介します

❶ここに来る前はどんなことをしていた？ ❷おりづるではどのようなことをしたい？ ❸自分の推しは？



宮崎（みやざき） 倫子（のりこ）

❶知的障害の方が生活している施設で働いておりました。利用者の方の生活全般の支援をしており、いろいろなことを学ばせていただきました。

❷当センターの素敵なところをたくさんの方に知ってもらえるよう、一つ一つの仕事を大切にしていきたいです。

❸我が家にいる３匹の猫です。癒やしの存在で、いつもお腹を触ると心が落ち着きます。



上條（うえじょう） 寛也（ひろや）

❶重度の心身障害の方が生活する施設で働いていました。丁寧な言葉かけと支援を心がけていました。

❷パラスポーツやレクリエーションをより多くの方に知ってもらえるよう、しっかり覚えて実演できるようにしていきたいです。

❸Bリーグ（バスケットボール）選手のマット・ボンズです。髪型と全力プレーが好きです。



藤原（ふじわら） 康浩（やすひろ）

❶ペットショップで接客販売や生体管理をしていました。生き物を扱う仕事なので、日々勉強の毎日でした。

❷体を動かすことが好きなので、スポーツ系のイベントや教室などに積極的に参加していきたいです。

❸運動によるストレス発散です。週に３回はスポーツをして汗をかくことが、今一番の推し活です。

「あつパラ！」シーズン２ スタート！

昨年、約半年間にわたって放送したスポーツ交流センターおりづるのラジオ番組「あつパラ！」が、今年も帰ってきました！

番組では、スポーツ交流センターの魅力や施設の利用方法をはじめ、教室や大会・イベントの情報、さらに職員の横顔など、さまざまな話題をお届けします。出演する職員は２週間ごとに交代。個性豊かな職員たちが、それぞれの目線で「おりづる」の今を発信していきます。写真は今年度の新人・上條が出演した日の一コマです。昨年は利用者の皆さんに「ラジオ聴いてくださいね」と声をかけ、「聴いたよ！」「よかったよ！」と言っていただくことが大きな励みでした。

ところが今年は、ちょっとした変化が。「ラジオで言っていた卓球マシーン、使えますか？」「○○教室のこと、ラジオで聴きました。まだ参加できますか？」など、番組をきっかけに実際の利用や問い合わせにつながることが増えてきました。

“聴いてもらうラジオ”から、“来てもらうきっかけになるラジオ”へ。

今年も「あつパラ！」を通して、おりづるの魅力や役立つ情報をどんどん発信していきます。ぜひお聴きください！

FM 東広島89.7MHz
毎週木曜日
12:00～12:15



「おりづる」は8月1日で30周年を迎えました



スポーツ交流センターおりづるは、８月１日に開館30周年を迎え、日頃の感謝を込めて記念イベントを開催しました。当日は約300人の皆さまにご来館いただき、開館前から常連の利用者をはじめ多くの方が列をつくるなど、にぎやかな一日の始まりとなりました。来館された皆さまには、30周年を記念したオリジナルグッズをプレゼントしました。

午前11時からはオープニングセレモニーを開催。濵西館長の挨拶に続き、開館以来30年にわたって利用されている桝浦健二さんから、施設への感謝の言葉をいただきました。「ここでボッチャを練習して、全国を目指したい」と、これからの目標も力強く語ってくださいました。



セレモニー終了後は、利重真枝先生を講師に迎え「竹筆体験会」を開催。竹ならではの味わい深い筆跡を楽しみながら、参加者の皆さんは思い思いの言葉を色紙やうちわにしたためました。

午後からは広島大学邦楽部による演奏会を開催。箏や三弦、尺八などの美しい音色がロビーいっぱいに響く中、利重先生による書道パフォーマンスも行われました。邦楽の生演奏と、力強く躍動感あふれる書の共演――音楽と書道が一つになった特別なひとときに、多くの来館者が見入っていました。演奏終了後には楽器体験会も行われ、実際に箏や三弦などに触れながら、邦楽の魅力を楽しんでいただきました。

普段は待ち合わせや休憩などで何気なく利用されているロビーが、この日は書や音楽、人と人との交流が広がる特別な空間に。30年の歩みに感謝するとともに、「おりづる」の新たな一面を感じていただける一日となりました。これからも皆さまとともに、次の30年へ歩んでまいります。



私とおりづるの30年

おりづるオープンから30年間、ずっと利用してくださっている桝浦健二さんにお話を伺いました。



私がおりづるを初めて利用したのは、開館した年の高校３年生の夏でした。最初はトレーニング室を利用していましたが、いろいろなスポーツを体験する中で、ボッチャと出会いました。

ボッチャは、投げたボールが思い通りの場所に決まれば嬉しく、うまくいかなければ悔しい。その繰り返しが楽しくて、気がつけば長く続けてきました。今は秋の大会に向けて、仲間と一緒に練習に励んでいます。

プールも私にとって大切な場所です。利用するようになったきっかけは、初心者向けのプール教室でした。最初は水が怖くて、なかなか思うようにできませんでした。それでも練習を続けるうちに、少しずつ水に慣れ、浮かぶことができるようになった時は、とても嬉しかったです。できなかったことができるようになる喜びや、自分の上達を実感できることが励みになりました。



振り返れば、おりづるで過ごした30年は、スポーツを通して体を動かすだけでなく、たくさんの仲間やスタッフと出会い、つながりを築いてきた30年でした。

これからも仲間やスタッフを信じて、体力づくり、そして仲間づくりに励んでいきたいと思います。これからも辛抱強く、私のことを見守ってください。

おりづるが生まれた1996年はこんな年でした

1996年（平成8年）――。

アトランタオリンピックに日本中が沸き、ルーズソックスやプリクラが流行。インターネットも少しずつ身近になり始めたこの年、広島では「ひろしま国体」と「おりづる大会ひろしま」が開催されました。

そして、1996年８月１日、スポーツ交流センター・おりづるが開館。

広島の障害者スポーツが大きく動き始めた時代に、「おりづる」もその歩みをスタートしました。

「1996年のヒット商品」
たまごっち／ NINTENDO64／ポケットモンスター

「1996年の流行」
アムラー／ルーズソックス／プリクラ

「1996年の広島」
ひろしま国体／おりづる大会／原爆ドーム世界遺産登録



第１回おりづるフェスタ1996の様子

大会報告

第26回広島県障害者フライングディスク競技大会開催

令和８年
６月28日(日)

創建ホーム東広島スポーツパーク（東広島運動公園陸上競技場）で、第26回広島県障害者フライングディスク競技大会を開催しました。

前日に大雨が降り、当日まで天候が心配される中、無事開催することができました。今回の大会は県内各地より200名以上の選手が参加されました。日頃の練習の成果を発揮するとともに、選手同士の交流を深めました。会場では、選手一人ひとりが目標に向かって真剣に競技に取り組み、熱戦が繰り広げられました。本大会は、来年10月に開催予定の第26回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎障スポ」に出場する広島県代表選手の選考会を兼ねて実施されたものです。全国大会を目指す選手にとって重要な大会となり、日頃の練習の成果を発揮する貴重な機会となりました。今大会を通じて、フライングディスク競技のさらなる普及と障害のある方のスポーツ活動の充実につながる大会となりました。ご参加いただいた選手の皆さまをはじめ、運営にご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。





大会報告

第31回広島県障害者卓球大会（身体障害者の部）開催

令和８年
７月26日(日)

今年で第31回目を迎えた「広島県障害者卓球大会（身体障害者の部）」。本大会は、来年、宮崎県で開催される「第26回全国障害者スポーツ大会（日本のひなた宮崎障スポ）」の広島県選手団の選手選考を兼ねています。

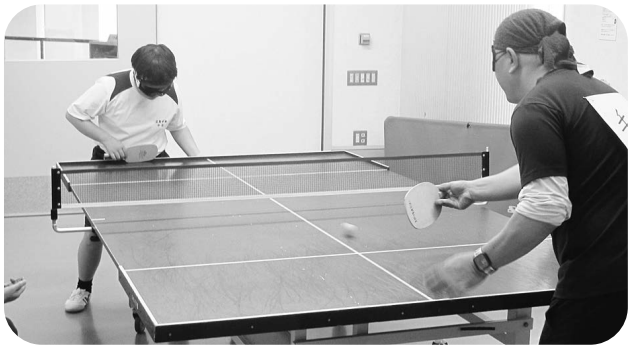
選手宣誓を務めたのは沖田護選手。力強い宣誓とともに、熱戦の幕が開きました。

今年は、７年ぶりにサウンドテーブルテニス（STT）の参加があり、開会式後にはデモンストレーションを実施しました。初めてサウンドテーブルテニスをご覧になる方も多く、皆さん興味深そうに見学されていました。

一般卓球の部では、ベテラン選手も初参加の選手も、それぞれが日頃の練習の成果と持てる力を存分に発揮していました。また、最後まで両者譲らない熱戦が各コートで繰り広げられ、大会は大いに盛り上がりました。

参加してくださった選手の皆さん、そして大会の運営にご協力いただいた広島県卓球協会、パラスポーツ指導員、おりづるサポーター、手話通訳の皆さん、ありがとうございました。

また来年も、皆さんと元気にお会いできることを楽しみにしています。





ふれあいコンサートを開催しました

令和８年
６月21日(日)

広島大学吹奏楽部による「ふれあいコンサート」を、当施設のアリーナで開催しました。近隣地域の方々をはじめ、普段から「おりづる」を利用されている方、当センターに併設されている各施設の利用者の皆さん、また近隣施設の方々など、多くの方にご参加いただきました。

広島大学吹奏楽部の皆さんは、この日のためにさまざまな趣向を凝らした演出を考えてくださいました。音楽劇では「リトルマーメイド」を演奏され、音楽だけでなく、目でも楽しめるよう工夫されており、大人から子どもまで楽しめる素敵なステージとなりました。また、園歌の演奏の際には、園児さんたちにも参加してもらいました。緊張しながらも一生懸命に指揮を振る姿はとてもかわいらしく、会場の皆さんの心も和みました。

今回のコンサートを通して、これからもこのような機会を継続していけたらと思うとともに、素敵な演奏を届けてくださった広島大学吹奏楽部の皆様に、心より感謝申し上げます。





話題の教室

水中で楽しく、無理なく運動！
「水中健康運動教室」

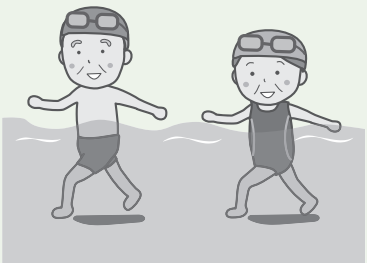
スポーツ交流センターおりづるでは、月に1回「水中健康運動教室」を開催しています。この教室は、どなたでも参加 OK ！ 年齢や運動経験に関係なく、自分の体力や体調に合わせて無理なく楽しめます。また、途中からの参加や途中退出も OK なので、「少しだけ運動したい」という方にもおすすめです。

教室では、水中での歩行をはじめ、ヌードルを使った水中トレーニングや、ソフトギムニクを使った筋力トレーニングなど、さまざまな運動を行っています。水の浮力を利用することで、陸上よりも身体への負担を抑えながら、楽しく身体を動かすことができます。

「運動不足を解消したい」「体を動かしたいけれど、激しい運動はちょっと…」という方も大歓迎です。

自分のペースで、無理なく、楽しく！

ぜひ「水中健康運動教室」に参加して、気持ちよく身体を動かしてみませんか？



スポーツ交流センターおりづる
関連イベント・予定のお知らせ

10月
3日(土)　卓球スキルアップ講習会
12日(月・祝)　第３回おりづる体験デイ
18日(日)　第31回広島県障害者卓球大会
21日(水)～27日(火)　全国障害者スポーツ大会へ役員派遣



11月
3日(火・祝)　ボッチャスキルアップ
8日(日)　第25回おりづるオセロ大会（★誰でも参加できます！！）
23日(月・祝)　第６回広島県障害者ボッチャ競技大会
28日(土)～29日(日)　インクルーシブ・スポーツ・フェスタ2026



12月
6日(日)　クリスマスコンサート
13日(日)　プール休業日(⚠)
28日(月)～1月4日(月)　年末年始休業日(⚠)



1月
16日(土)17日(日)23日(土)24日(日)　初級パラスポーツ指導員養成講習会
30日(土)31日(日)　水泳スキルアップ講習会

2月
11日(木・祝)　広島県パラスポーツ指導者研修会
14日(日)　第29回広島県障害者水泳競技大会

3月
7日(日)12日(金)　令和９年度おりづるサポーター養成講習会
21日(日・祝)　第４回おりづる体験デイ
27日(土)28日(日)　フライングディスク指導者養成講習会

※上記予定は、機関誌発行時の予定です。変更の場合もありますので、ホームページや電話にてご確認ください。

あとがき

気がつけば30年。平成８年に羽ばたき始めた「おりづる」も、いつの間にか30歳になりました。これまで出会ったたくさんの笑顔とご縁に、心から感謝しています。30歳はまだまだこれから！これからも皆さんと一緒に、楽しく、元気に、そして時にはちょっと寄り道しながら、次の30年へ羽ばたいていきたいと思います。(K.O.)

おことわり

平成17年４月、個人情報保護法の制定に伴い本誌掲載の写真は、全て、本人の許可を得て掲載しております。

■　編集・発行　■
広島県立総合リハビリテーションセンター
スポーツ交流センター　おりづる
〒739－0036　東広島市西条町田口295－3
TEL（082）425－6800　　FAX（082）425－6789
Mail　oridsuru@hiroshima-wsc.jp
HP　https://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/